

第3学年 社会科 公民的分野学習指導案

学級 3年2組 (男子16名 女子20名 計36名)
指導者 教諭 武田 泰河

- 1 単元名 第2章 「人間を尊重する日本国憲法」
第3節 わたしたちの平和主義 ～平和主義とはなんだろう～

2 単元について

(1) 教材観

本題材は、学習指導要領の中学校社会科公民的分野の学習の流れの(3)私たちと政治の「ア 人間の尊重と日本国憲法の基本原則」に関する内容を取り扱う。特に、日本国憲法の基本的原則のひとつである「平和主義」の理解を深めることをねらいとしている。「平和主義」については、日本国民は、第二次世界大戦その他過去の戦争に対する反省と第二次世界大戦の末期に受けた原爆の被害などのいたましい経験から、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように望み、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようとする願い、国際紛争解決の手段としての戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解させることを目標とする。

(2) 生徒観

公民の学習に対して興味関心が高く、意欲的に取り組んでいる。特に男子は、疑問点があると積極的に質問をしてくる。授業以外の場面でも社会的事象についての関心の高さが見受けられ、例えば安保関連法案が衆議院で可決されたとき、生徒同士でその内容や賛否について意見を交わしている姿がみられた。

一方で、集中力の持続が難しく感覚や思いつきに頼る発言で収拾がつかなくなる場合があるので、取り組むべきことを明確にして進めることが必要である。

(3) 指導観

日本国憲法の三大原則は、これまでの授業で何度も確認し、今何を学んでいるのかはつきりさせながら取り組んできた。今回学習する「平和主義」については、ほとんどの生徒がこの三大原則の最後の柱であることを捉えている。したがって、本単元の導入部では、第2章「人間を尊重する日本国憲法」の締めくくりになることを十分に意識させながら、「平和主義」の考え方をとらえさせたい。

また、外国の平和主義を資料で調べることにより、日本の平和主義と比較し、日本の平和主義についてどのように考えるのか、自分自身の考えも持たせたい。

3 単元の目標

- ・日本国憲法に定められた平和主義の意義について、興味や関心をもって調べようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・日本の平和主義について、歴史的経緯や国際社会からの見方など、さまざまな視点から考察し、自分の言葉で表現している。(社会的な思考・判断・表現)
- ・さまざまな資料から、日本の平和主義について調べたことをまとめている。(資料活用の技能)
- ・日本国憲法における平和主義の考え方を理解し、前文や第9条の内容を正しく理解している。
(社会的事象についての知識・理解)

4 単元の指導計画（全16時間）

民主政治を支える憲法	4時間
憲法が保障する基本的人権	10時間
憲法に定められた平和主義	1時間〈本時〉
日本の平和主義への期待	1時間

5 本時の目標と評価規準

(1) 本時の目標

- ・平和主義に関心を持ち、平和主義について意欲的に調べようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ・平和主義が第2次世界大戦の惨禍を反省した上で成り立っていることや、日本国憲法の第9条・平和主義について世界的に例がないものであることを理解する。
(知識・理解)
- ・外国の平和主義の資料と日本の平和主義を比較して、自分の考えをまとめることができる。
(思考・判断)

(2) 評価規準B

- ・憲法の前文から平和に関する部分を抜き出すことができる。
- ・平和主義が第2次世界大戦の惨禍を反省した上で成り立っていることを理解している。
- ・外国の平和主義の資料と日本の平和主義を比較して、自分の考えをまとめることができる。

6 本時における研究の重点について

(1) 「課題設定の工夫」

本時が主体的な学びになるように既習事項を想起させながら生徒たちの言葉から設定できるようにする。

また、第2章「人間を尊重する日本国憲法」の締めくくりになることを、十分に意識させてから課題の設定を行いたい。

(2) 「関わり合いの工夫」

4月から行っているのは、ペアでの既習の重要語句の確認・説明や、4人グループによるである。特に今回のグループでは、意見交流を主とした関わり合いをもたせる。

(3) 「まとめの工夫」について

展開部でおさえた基礎基本的な知識を活用して、課題に対するまとめを記述する。「憲法前文から平和主義は～、また第9条では～」の書き出しに続けるよう指示する。また、終末部では国際的な視点から考えた平和主義を自分の言葉でまとめさせる。

7 本時の展開

	学 習 活 動	教師の指導・支援
導 入	1 前時の学習を復習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の3つの基本原理を確認。ペアで互いに言う。 ・今回は「平和主義」について学ぶことを確認する。
	2 本時の学習課題を知る。 ワークシート①に課題記入。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 課題 日本国憲法の「平和主義」は、どんな考え方なのか。 </div>		
展 開	3 学習課題に迫る。 4人グループをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法前文から、平和主義のことについて書かれていると思われるところに、グループで相談しながらアンダーラインを引かせる。 ・いくつかのグループに発表させる。 引いた箇所と理由を明確にして発表させる。 ・机間支援を行い、記入できていない生徒に助言をする。 ・第9条を調べさせ、プリントに要点をまとめさせる。 ・特に平和主義＝戦争放棄という点に注目させる。
	(1) 憲法前文を確認 平和主義に該当する箇所にアンダーラインを引く (2) 発表 グループを戻す (3) 憲法第9条を確認	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 課題のまとめ (例) 憲法前文から「平和主義」は、<u>第2次世界大戦の惨禍の反省から生まれた「戦争放棄」という考え方だと分かる。</u> また第9条では、<u>陸海空軍などの戦力を持たないことなどが記されている。</u> </div>		
終 末	4 課題に対するまとめを書く。	
	5 国際的な視点から学習課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②を配布 ・資料をみながら、外国と日本の平和主義の比較させ、分かったことをまとめさせる。 ・国によって「平和主義」という考え方が違うことを、とらえさせる。
	(1) 外国の平和主義についての資料を調べ、日本の平和主義と比較し、分かったことをまとめる。	
	(2) まとめたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間支援を行い、記入できていない生徒に助言をする。 ・何人かを指名し、5(1)でまとめたことを発表させる。
	6 次時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は「自衛隊」の存在や、国際貢献について学習することを伝える。